アメニティデザイン企業

DAIKEN

施工後、必ずお施主様にお渡しください。

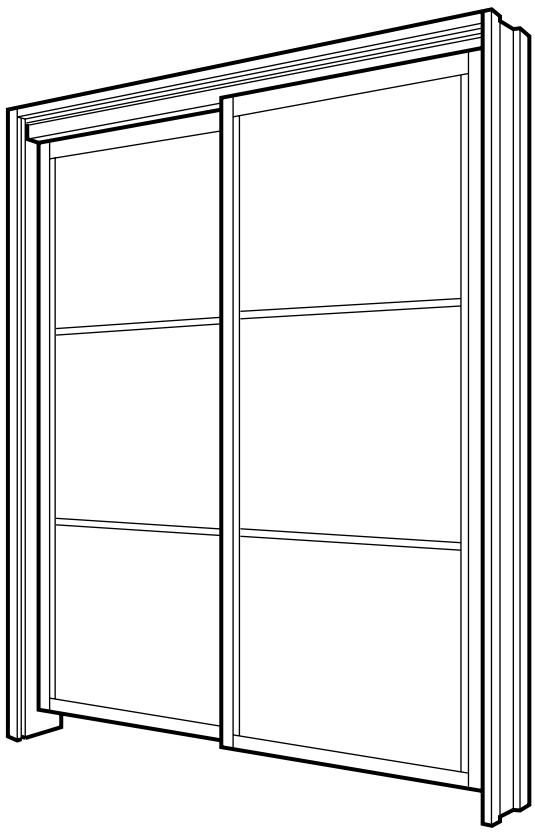
施工説明書

取扱説明書

ダイケン 開閉間仕切RⅢシリーズ<引戸タイプ>

（ウッドタイプ・スケルトンタイプ）

〈 見切枠・片引 引違・引分・4枚引違 〉



この冊子には、施工上重要な項目が記載されています。
施工の際にはよく読み、手順通りに正しく施工してください。
又、使用後は必ずお施主様にお渡しください。

大建工業株式会社

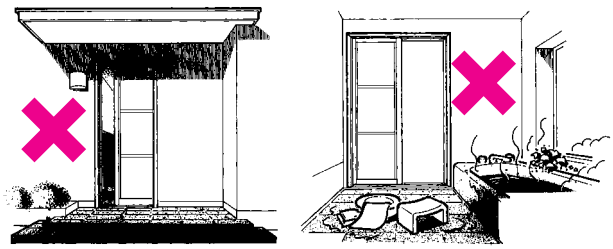
開閉間仕切引戸A-ST100809

必ずお守りいただきたいこと

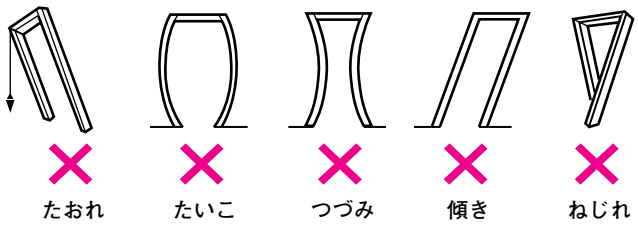
⚠施工上注意

ダイケン開閉間仕切RⅢシリーズを長期間安全に使えるように施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

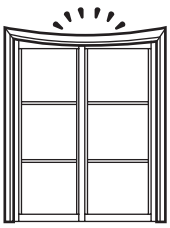
●この吊戸は一般住宅用の室内用吊戸です。
室外や湿気の多い場所、また病院や施設等、不特定多数の方が使用される場所でのご使用はおやめください。



●枠の水平・垂直を確認してから取り付けてください。
――扉が閉まりにくくなったり、枠との間にスキマができる原因となります。



●扉は上吊式です。
上枠を取り付けるまぐさは、必ず強度のある梁から、吊束又は吊りボルトで補強してください。
梁が弱いと上枠が垂れ下り、扉がスムーズに開閉できません。



●扉・枠及び金具、採光部に工具などをぶつけたり、運搬時にひきずらないようにご注意ください。
――傷をつけるおそれがあります。

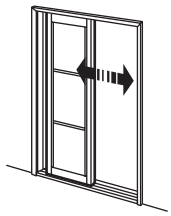
●工事が完成するまでの間、扉はたてかけて保管しないでください。
扉は平積み保管してください。

●照明灯、ストーブ等を近づけすぎないでください。
――熱によるシート変色、ふくれ等の原因となります。

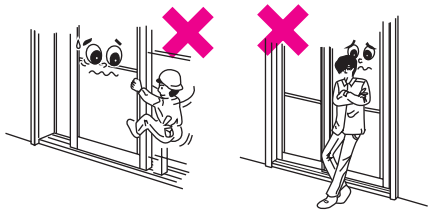
⚠使用上注意

本製品を安全に、また末永くご愛用いただくためにご使用前に必ずよく読み、正しい使用法・使用上の注意事項をよく理解してください。この取扱説明書は、いつでも利用できるように、大切に保管してください。

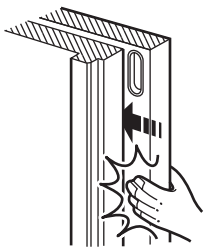
●扉の開閉は、静かに行ってください。乱暴に扱うと扉が破損したり脱落する恐れがあり



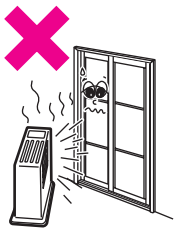
●扉にぶつかったり、扉にもたれたりしないでください。
扉が破損したり、脱落する恐れがあります。



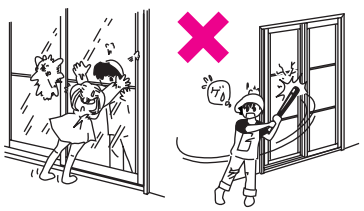
●扉を開閉する際、指をはさまないよう、注意して操作してください。
特に小さなお子様には十分ご注意ください。



●ストーブ等の熱源を近づけないでください。
扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。

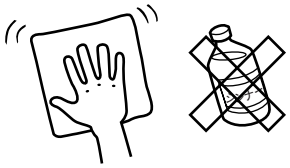


●採光部に強い衝撃を与えたり、物をぶつけたりしないでください。
採光部が割れるおそれがあります。特に小さなお子様には十分ご注意ください。



お手入れの方法

●扉や枠の清掃は、乾拭き又は中性洗剤を薄めて、硬く絞って拭いてください。
シンナー・ベンジン等を使用すると、表面の艶が変わったり、変色する場合がありますので、避けてください。



目　　次

必ずお守りいただきたいこと
全体図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
部材・部品表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
準　備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
施工の前に　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
施工手順　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5〜9
寸法図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10〜12

ホルムアルデヒド発散区分資料

ダイケン 開閉間仕切RⅢシリーズ <引戸タイプ>

F ☆☆☆☆（住宅部品表示ガイドラインによる）

この度はダイケン 開閉間仕切RⅢシリーズ<引戸タイプ>をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品のホルムアルデヒド発散に関する性能担保は下の図表の様になっております。
建築確認の際に本資料をご利用ください。

製品の構成とホルムアルデヒド発散区分

規制対象外（F☆☆☆☆）

構成部位	内装仕上げ部分（表面）				下地部分（裏面・内面）		
	ホルムアルデヒド発散建築材料		発散区分	認定番号	ホルムアルデヒド発散建築材料	発散区分	認定番号
①ウッド扉	樹脂シート張MDF	大臣認定品	規制対象外（F☆☆☆☆）	MFN-0143	−		

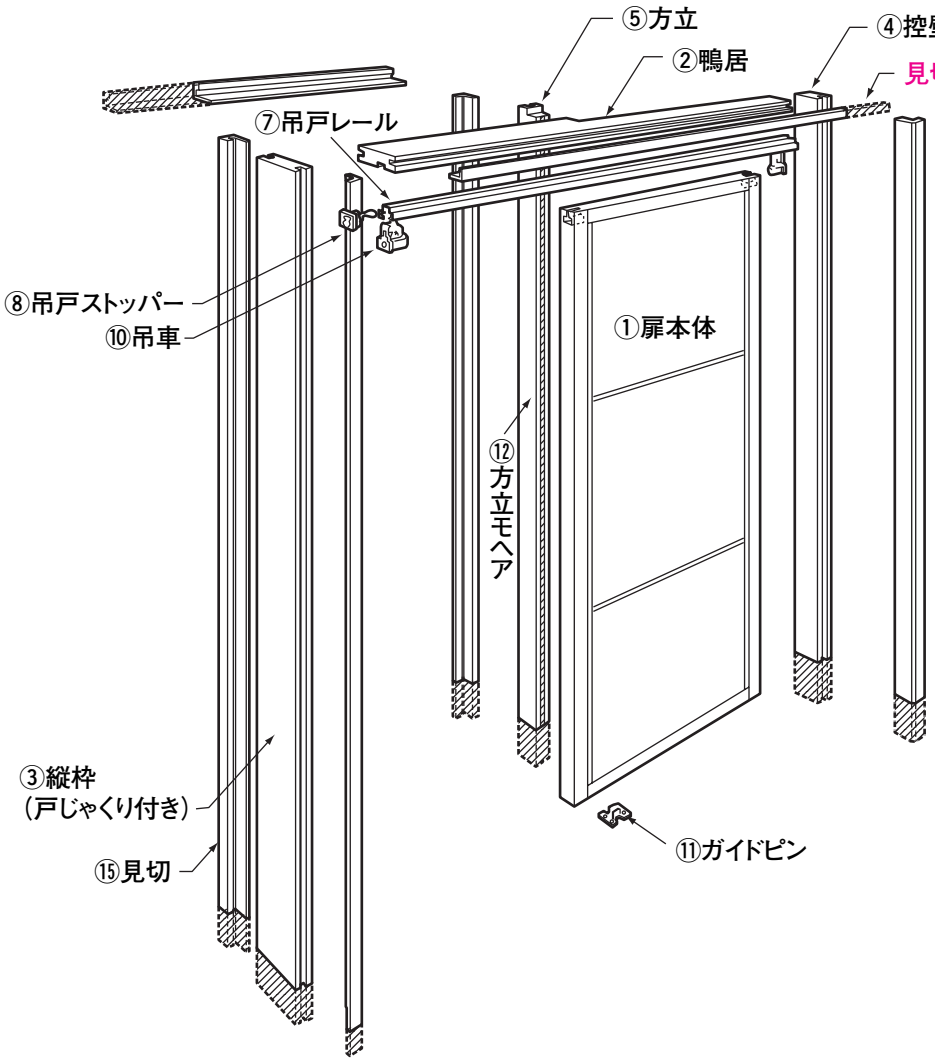
規制対象外部位・告示対象外

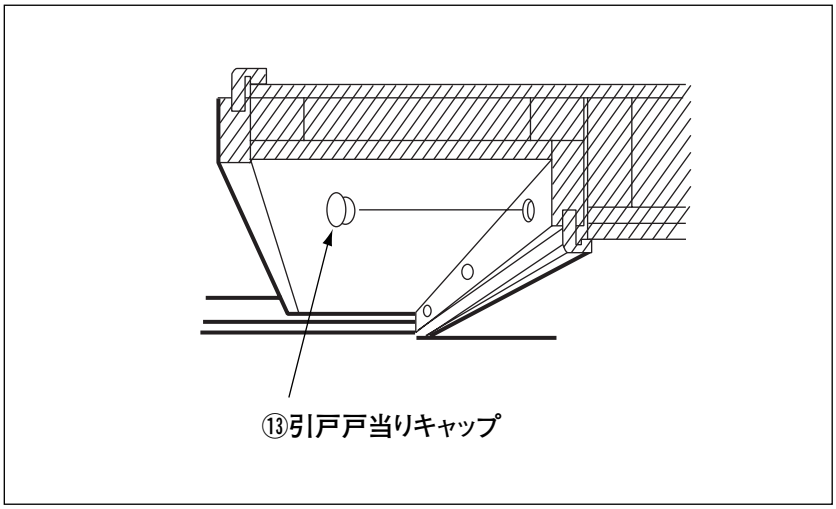
①スケルトン扉	告示対象外
②枠/見切	規制対象外部位：F☆☆☆☆ 大臣認定品（樹脂シート張MDF）の材料を使用しています。 （ホルムアルデヒド発散区分：規制対象外　認定番号：MFN-0143）
③上レールほか	告示対象外

全 体 図

※図は片引の例です。

〈見切枠〉



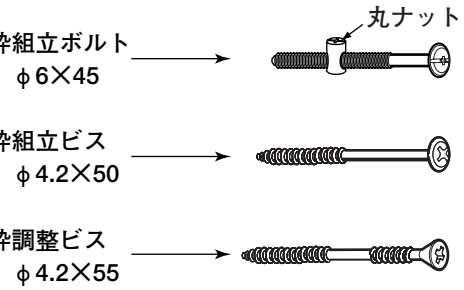


部材・部品表

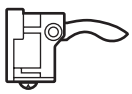
施工前に必ず部品を確認してください。

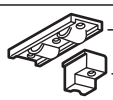
	部品名称		必要数量	備考
扉セット	①	扉本体	片引の場合　1 4枚引違の場合　4 引分・引違の場合　2	

枠セット	②	鴨居		1		プレカット済み
	③	縦枠		片引の場合　1 引違の場合　2(左2) 4枚引違の場合 2(左右各1)		
	④	控壁縦枠		片引の場合　1 引分の場合　2		
	⑤	方立		片引の場合　1 引分の場合　2		
	⑥	金具セット		引分	片引	引違
			枠組立ボルト	4	4	4
			丸ナット	4	4	4
			方立組立ビス	2	1	0
			枠調整ビス	8	8	8
	⑦	吊戸レール		片引・引分の場合　1 引違の場合　2		
				片引	引違	4枚引違	引分
			レール取付けビス	1	1645	3240	3
					2	5	
	⑧	吊戸ストッパー(端用)		片引の場合　1 引違の場合　2 4枚引違い　2		
	⑨	中間ストッパー・ストッパーブロック		引分の場合　各2 4枚引違い　各4		
	⑩	吊車		扉1枚につき　2		
	⑪	ガイドピン		扉1枚につき　1		
	⑫	方立モヘア		方立1本につき　1		方立に取付済
	⑬	引戸戸当りキャップ		8		
	⑭	施工説明書・取扱説明書		1		必ずお施主様にお渡しください。



取付けビス――5本／袋(φ4.2×65)





取付けビス

ガイドピン1つにつき4本(φ3.1×20)

	部品名称			数量	備考
見切セット	⑮	見切	縦　用	4	壁厚に合わせて 5 サイズの中から選んでください
			横　用	2	

必要梱包　扉セット＋引手（ウッド扉の場合）＋枠セット＋見切セット

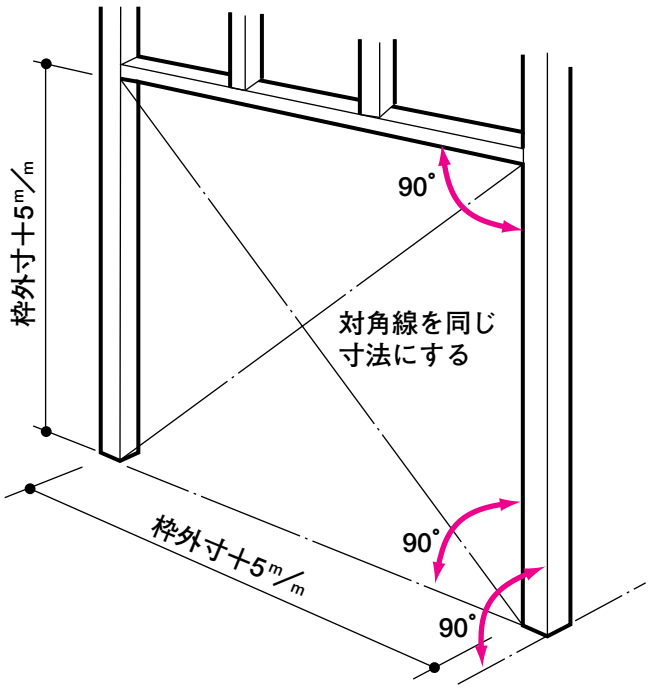
準 備

◆扉は上吊り式です。
まぐさは、必ず強度のある梁から、吊束又は吊りボルトで補強してください。

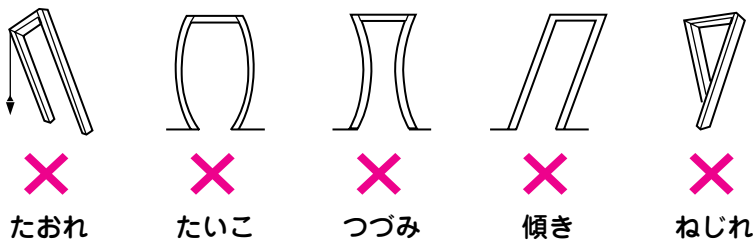
	6 尺間口	9尺間口	12尺間口
梁の断面寸法	105×180mm以上	105×300mm以上	105×360mm以上

◆開口部の幅・高さの寸法を充分に確保してください。
◆柱の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器でよく確認してください。

⚠注意 梁が弱いと上枠が垂れ下り、扉がスムーズに開閉できません。

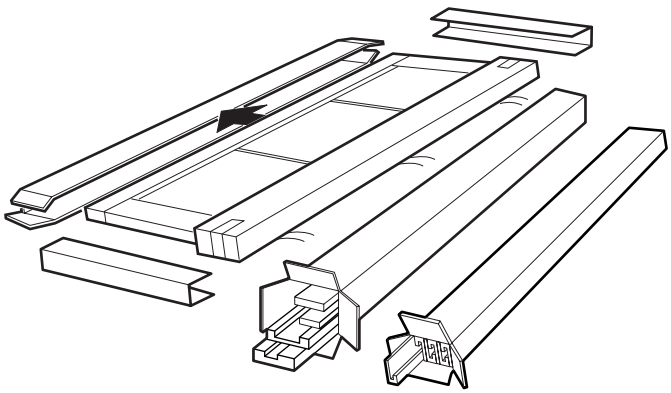


⚠注意
右記の様なことがあった場合扉が閉まらない場合があります。



梱包を開けて部品を確認してください。

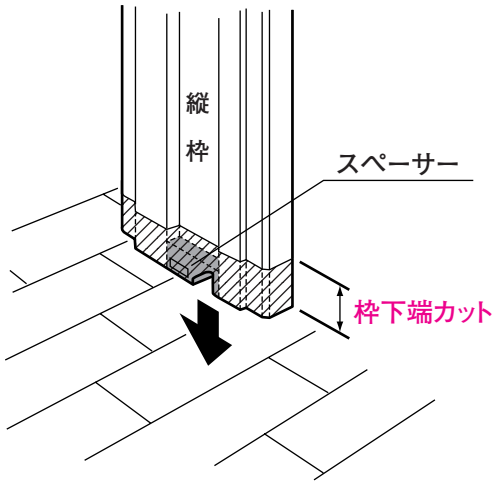
見切枠 ⇨ 扉セット＋枠セット＋見切セット
※詳細は全体図を参照してください。



施工の前に

7尺高は8尺高枠を兼用します。
7尺高扉をご使用の際は、8尺高枠をカットしてください。
また、縦枠はt12フロアに枠を埋めこむ場合の長さに合わせてあります。
現場に合わせて加工してください。（下記参照）

※戸じゃくり部にスペーサーがついている場合は予め外してから下端をカットしてください。



枠を床下に埋め込まない場合

（8尺高扉の場合）：枠下端より12mmカットしてください。
（7尺高扉の場合）：枠下端より297mmカットしてください。

枠を床下に埋め込む場合

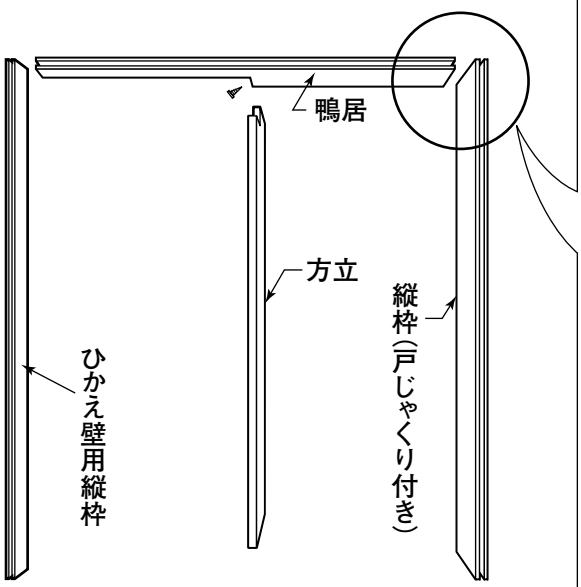
＜フロア厚みが12mmもしくは12mmより薄い場合＞
（8尺高扉の場合）：12mm －（フロア厚み）カット
（7尺高扉の場合）：297mm －（フロア厚み）カット

（例）8尺高扉を使用し、フロア厚み3mmの時
12mm－3mm＝9mm ⇨ 9mmカット

＜フロア厚みが12mmより厚い場合＞
（8尺高扉の場合）：（フロア厚み）－12mmの厚みのカイモノを縦枠の下に設置してください。
（7尺高扉の場合）：297mm －（フロア厚み）カット

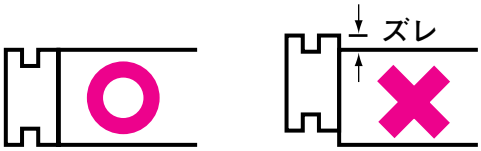
（例）8尺高扉を使用し、フロア厚み15mmの時
15mm－12mm＝3mm ⇨ 3mmのカイモノを縦枠の下に設置

三方枠を組んでください。



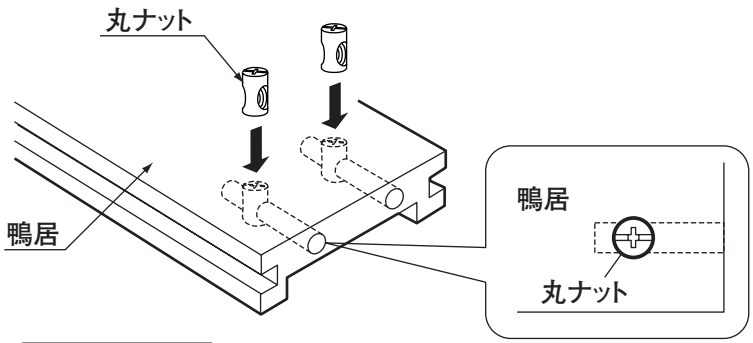
組立には同梱の枠組立ビスを使用してください。

縦枠と鴨居にずれがないように組み立ててください。



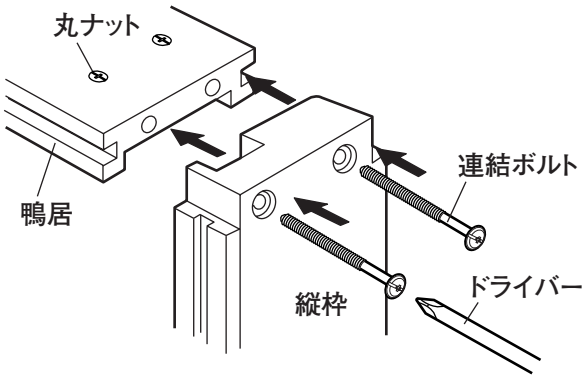
丸ナットの取付け

丸ナットを鴨居に差し込んでください。
丸ナットの穴が枠組立ボルトの穴に合わなかった場合は、ドライバーにて下図のように直してください。



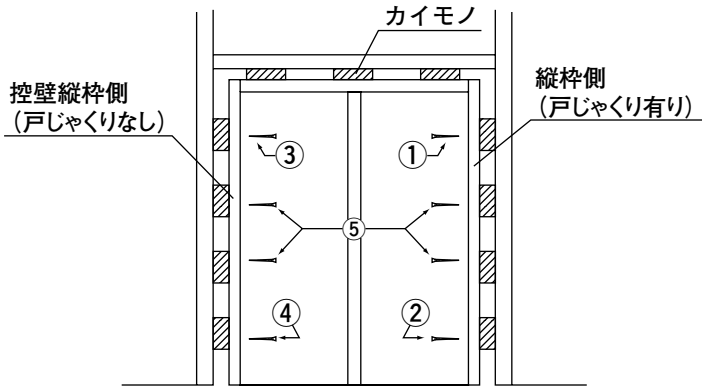
枠の組立て

縦枠と上枠をズレのないようにしっかり合わせ、枠組立ボルトにて組立てください。



施工手順

1 開口部への枠の取付け



①枠を開口部にはめこんで縦枠側（戸じゃくり有り）の上部を枠調整ビスで仮固定してください。

⇩

②下げ振りを使って垂直をだしてから、縦枠（戸じゃくり有り）の下部を枠調整ビスで仮固定してください。

⇩

③水準器で上枠の水平を見ながら控壁縦枠の上部を枠調整ビスで仮固定してください。

⇩

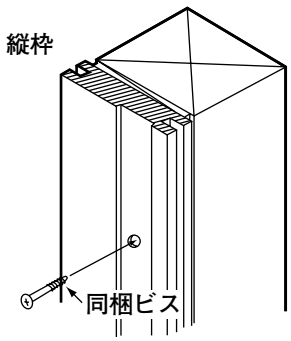
④下げ振りを使って垂直をだしてから、控壁縦枠の下部を仮固定してください。

⇩

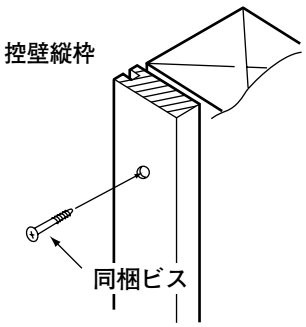
⑤枠の左右調整は右記の様に行ってください。

⇩

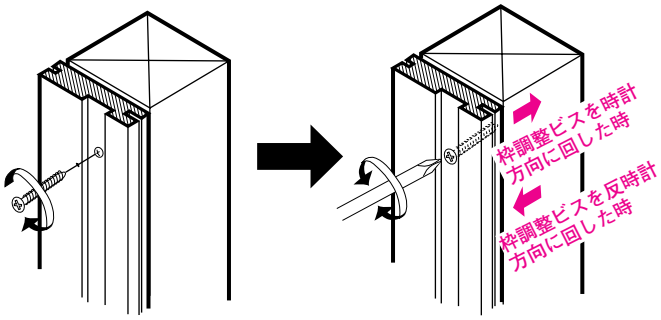
⑥枠の前後、左右のたわみがない様に調整後カイモノをして、残りの枠調整ビスで本固定してください。



必ず戸じゃくりのリード穴から同梱の枠調整ビスで固定してください。



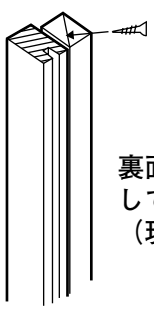
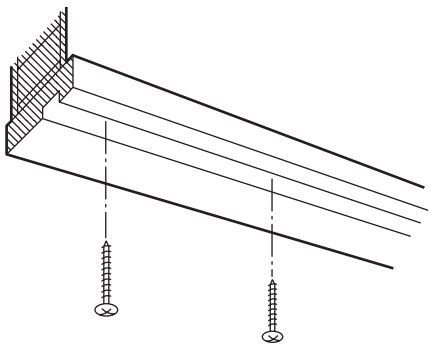
同梱の枠調整ビスでリード穴から固定してください。



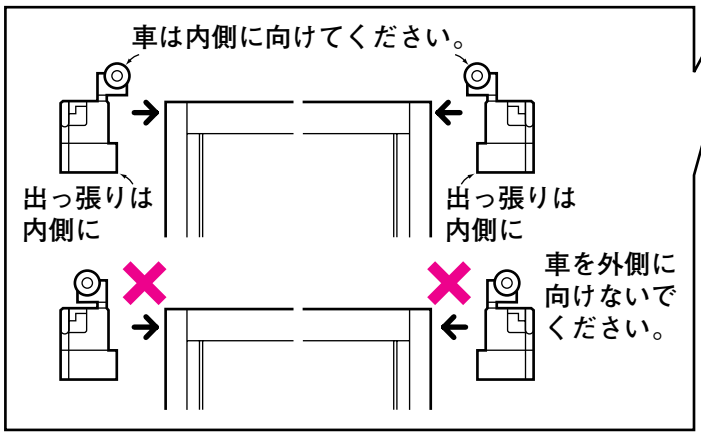
①まず枠調整ビスで枠を固定します。

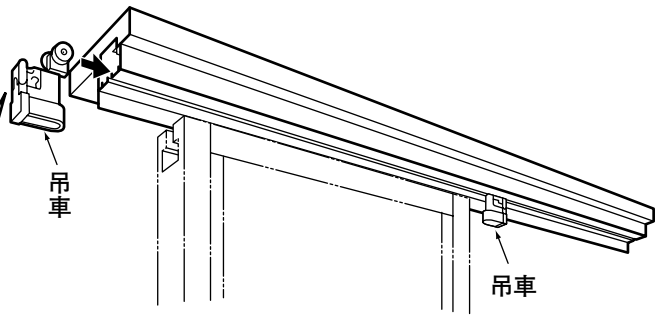
②枠調整ビスを回すことで、柱と枠の間の隙間を調整することが出来ます。

⚠ 注意 枠調整ビスでの調整には必ず手動ドライバーをご使用ください。

方　立	上　枠
 裏面からビスで固定してください。（現場手配）	 上枠をℓ＝50以上のビス（現場調達）を用いてピッチ300間隔で固定してください。

2 レールは吊戸ストッパーをはめこみ、吊車をレールの中に入れてから同梱のビスで上枠に固定してください。

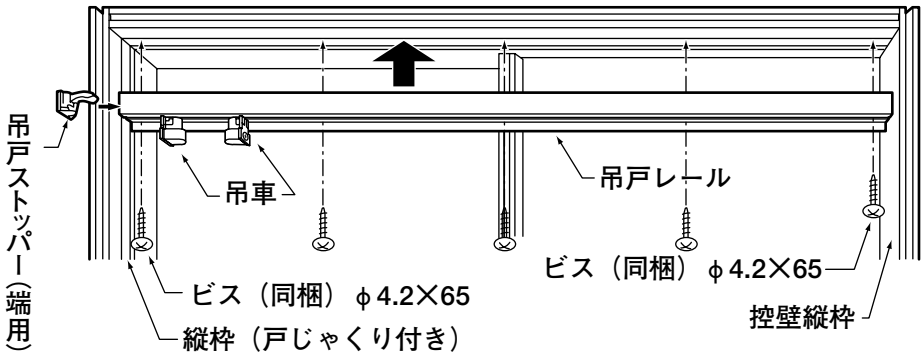




⚠ 注意

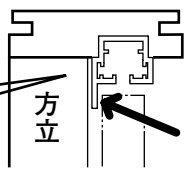
吊戸レール内のゴミ・ホコリを除去ください。
吊車走行時の異音の原因になります。

片引の場合

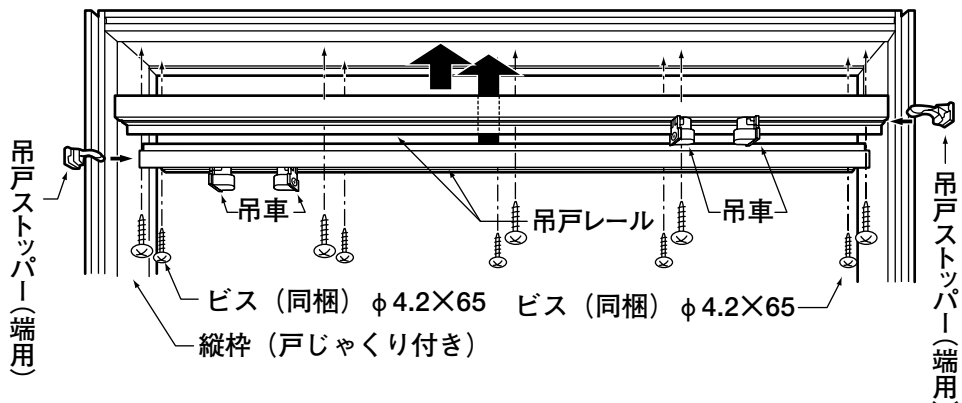


※吊戸ストッパー（端用）は扉の閉まる方向の端（＝縦枠に戸じゃくりのある方）に取り付けてください。

※レールの明りもれ防止部が方立側に向くように取り付けてください。

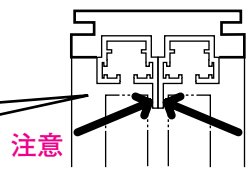


引違の場合



※吊戸ストッパー（端用）は扉の閉まる方向の端（＝縦枠に戸じゃくりのある方）に取り付けてください。

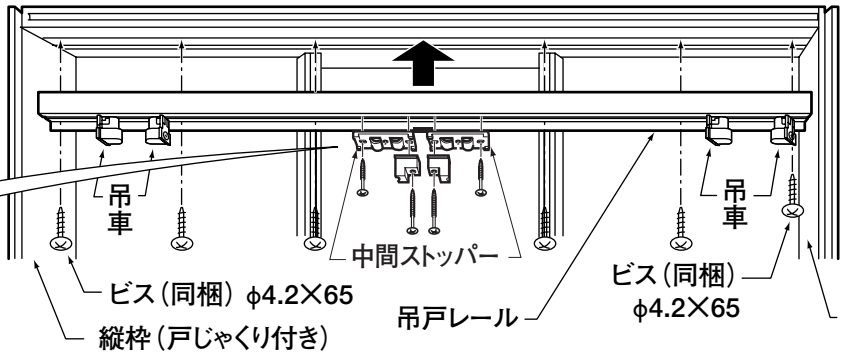
※レールの明りもれ防止部が互いに内側に向くように取り付けてください。



⚠ 注意

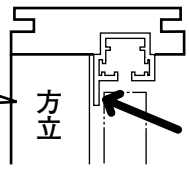
引分・4枚引違の場合は「中間ストッパー」と「ストッパーブロック」を必ず取り付けてください。取付けずに使用すると「ガイドピン」が破損する恐れがあります。

引分の場合

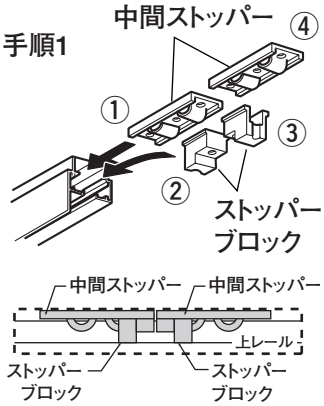


※ストッパーは扉の閉まる方向に取り付けてください。

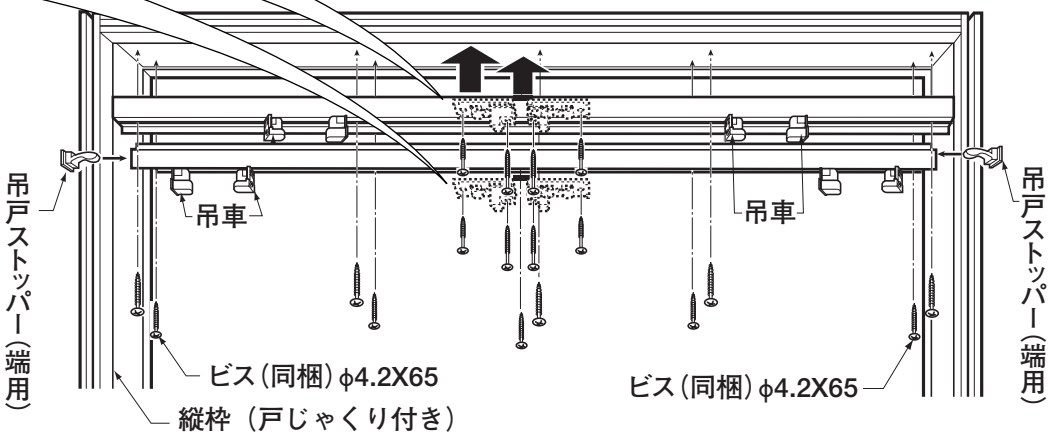
※レールの明りもれ防止部が方立側に向くように取り付けてください。

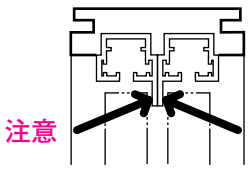


中間ストッパーの取付手順



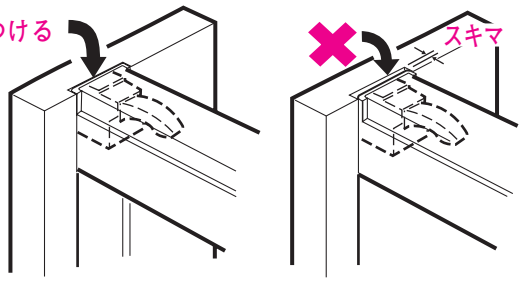
4枚引違の場合





※レールの明りもれ防止部が互いに内側に向くように取り付けてください。

ピッタリとつける ○

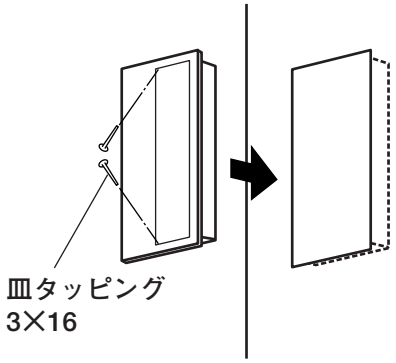


⚠ 注意

レールは、ストッパー側にすきまができないように取り付けてください。

---

3 ウッド扉の場合は、扉に引手を取付けてください。（引手は別梱）

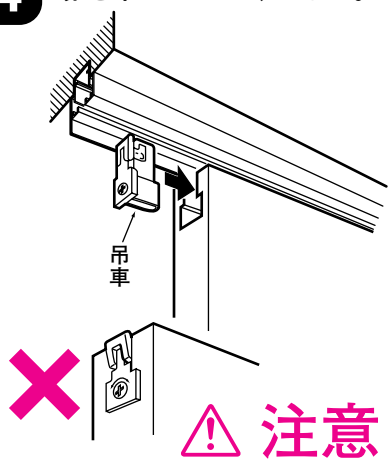


⚠ 注意

同梱の取付ビスでしっかり固定してください。

---

4 扉を吊りこんでください。

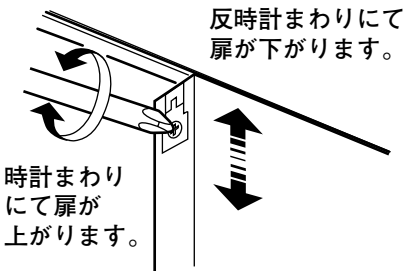


⚠ 注意

必ず吊車を完全にはめこんでください。

---

5 吊車の調整ビスで扉と枠のスキマを調整してください。（調整可能範囲 6 mm）



⚠ 注意

調整吊車で調整しきれない場合は再度枠の水平・垂直を確認し手直ししてください。

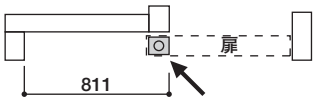
6 ガイドピンを床に取り付けてください。

⚠ 注意 必ず扉の上下調整（4）をしっかり行ってから、ガイドピンを取り付けてください。

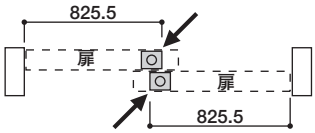
吊り込んだ扉を開けた状態で印を付けてから取り付けてください。

ガイドピンの取付け位置: →

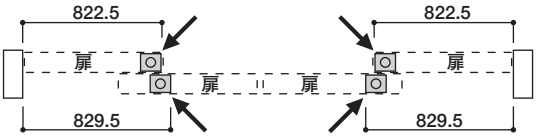
【片引】 左タイプ（右タイプは対称）



【引違】



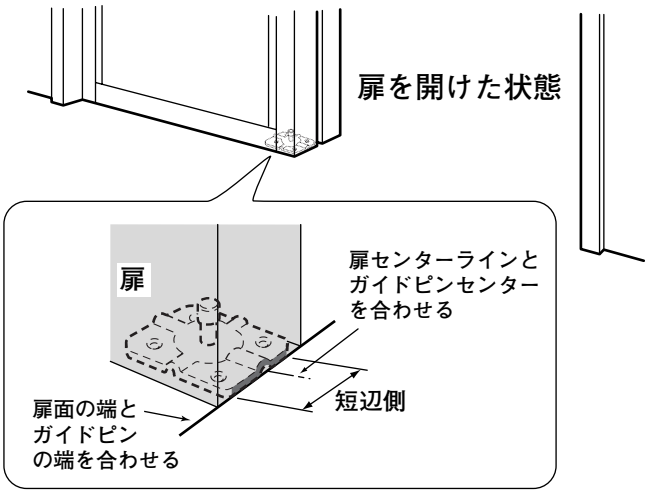
【4枚引違】



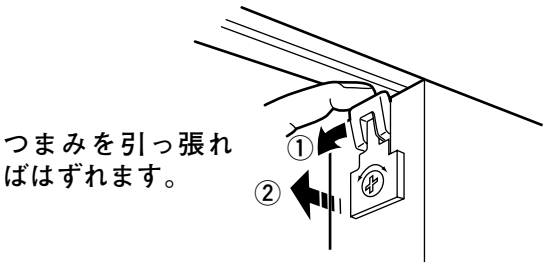
【引分】

※扉はガイドピンを中心に扉巾分だけ左右にスライドします。

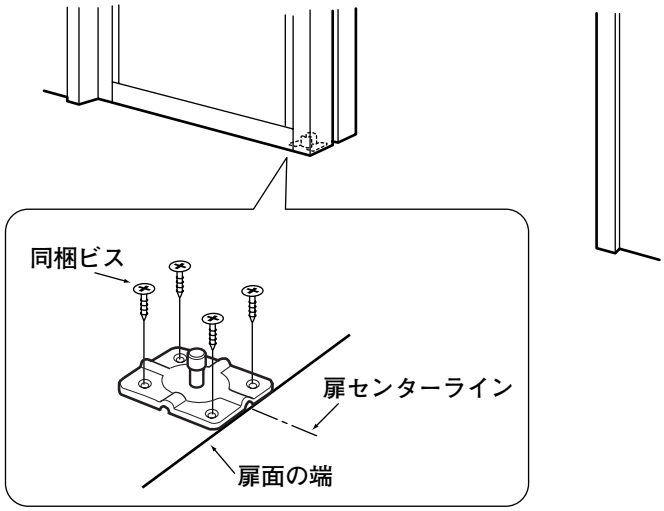
① ガイドピンの短辺側が扉面の端にそろうように位置を決めて印をつけてください。



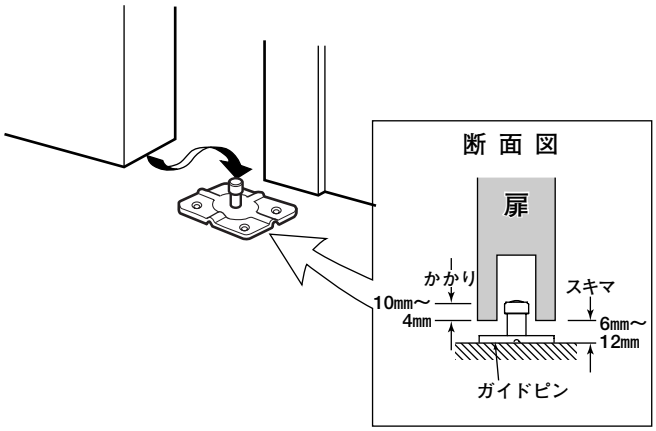
② ガイドピン側の吊車をいったんはずし、扉をはずしてください。



③ ガイドピンを同梱のビスで取付けてください。

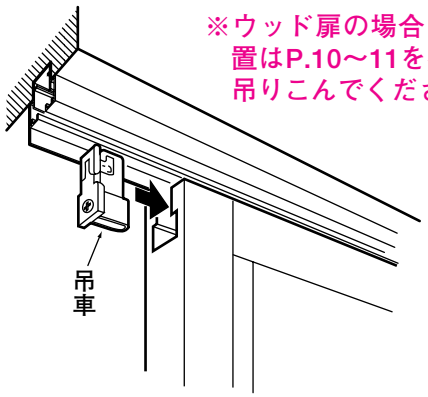


④ 扉をガイドピンにはめこんでください。



⑤ 再び吊車をはめこむ。

※ウッド扉の場合、引手位置はP.10～11を参照して吊りこんでください。



⑥ 扉を静かに開閉し、ガイドピンがガイド溝に触れないことを確認してください。

⚠ 扉を上げすぎるとガイドピンに扉がかからない恐れがあります。その場合は再度吊車で高さ調整してください。

⚠ 扉下木口と床面とのスキマは 4 mm以上あけてください。ガイドピンと扉下木口がこすれ、作動不良の原因となります。

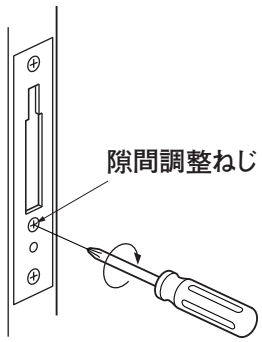
7

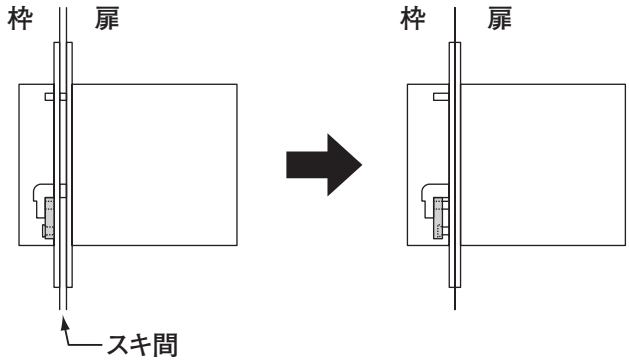
カマ錠タイプの場合

カマ錠受座にて錠のかかり具合を調整してください。

ガタつき調整

①扉を閉めて施錠し、隙間を確認してから隙間調整用ネジを回して調整してください。
②扉を閉めて施錠し、再度ガタつきのない事を確認してください。
③まだガタつく場合は①～③を繰り返して調整してください。

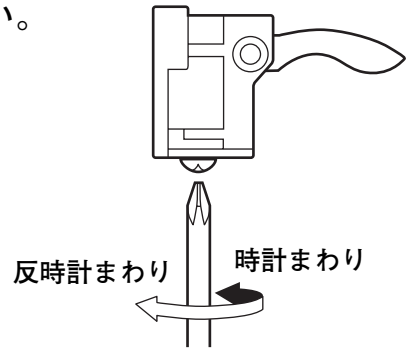




8

吊戸ストッパーの調整ビスでキャッチ力を調整してください。

時計まわりにて、キャッチ力が強まります。
反時計まわりにて、キャッチ力が弱まります。

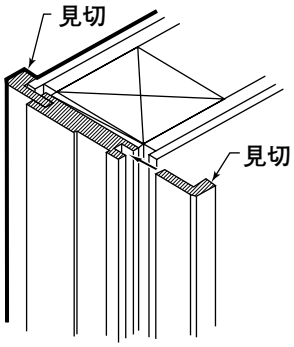


9

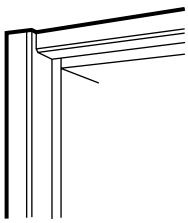
見切の取り付け

壁の施工が終了してから、見切を取り付けてください。
見切に接着剤（木工ボンド）を塗布してください。

※見切は現場にて現物合せしてカットしてください。

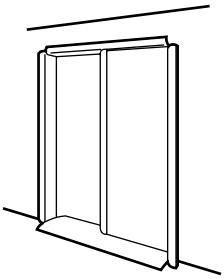


シンプルタイプ
縦勝ちの納めになっています。

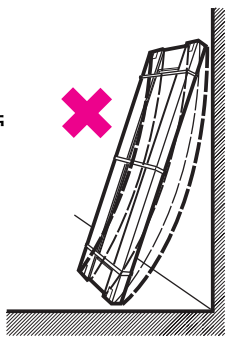


10

工事が完成するまで扉・枠をダンボールなどで養生してください。



※扉を壁にたてかけて保管しないでください。

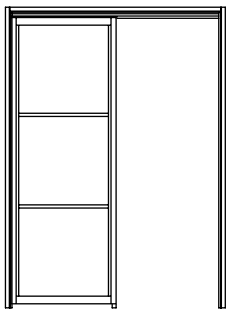


寸法図

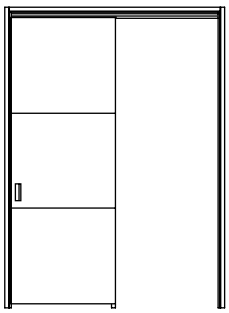
吊戸片引寸法図

※図は右タイプ（R）

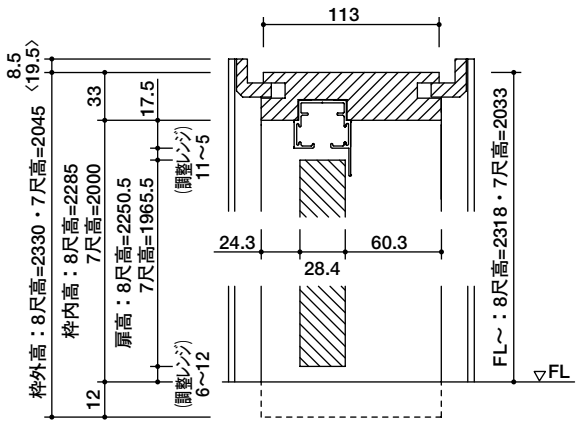
スケルトンタイプ

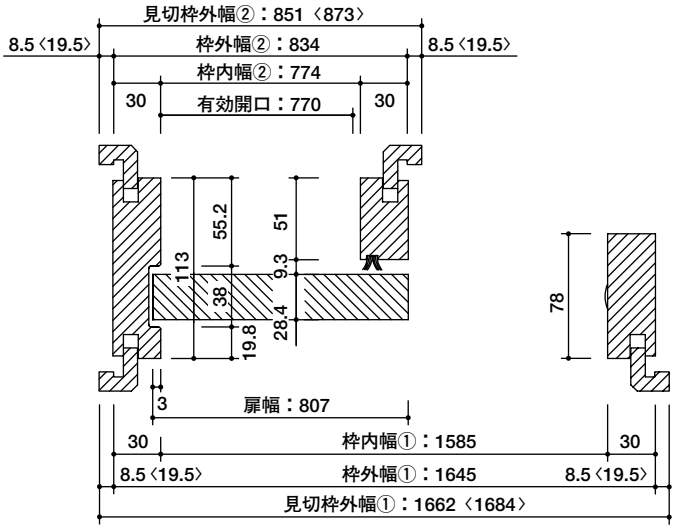


ウッドタイプ



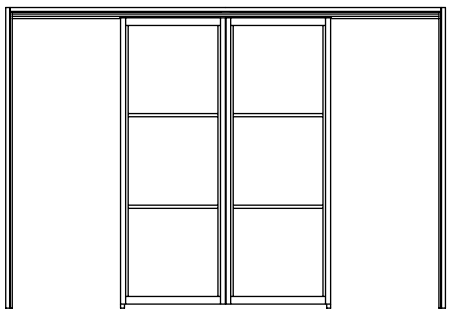
図は見切B～E使用の場合
〈　〉は見切Aの場合



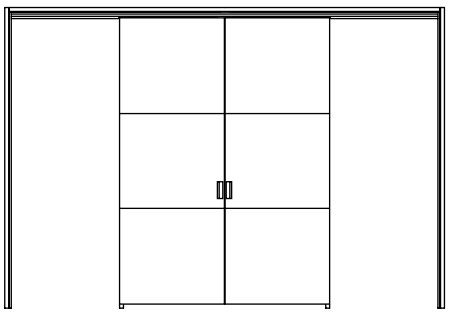


吊戸引分寸法図

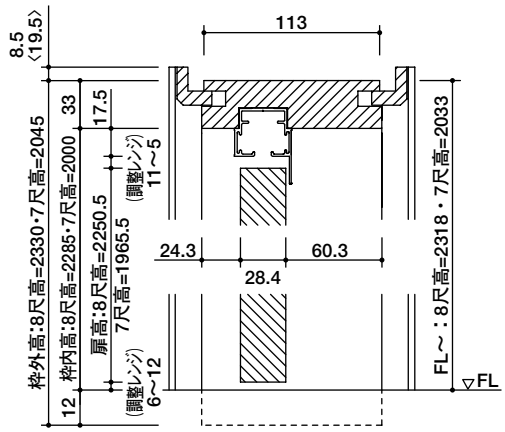
スケルトンタイプ

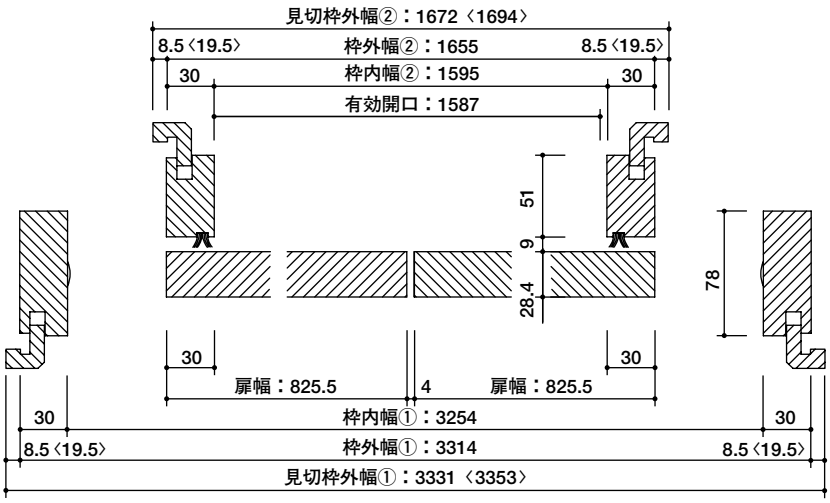


ウッドタイプ



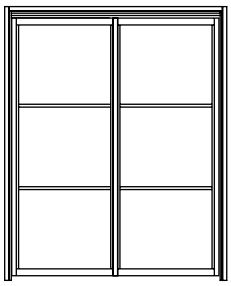
図は見切B～E使用の場合
〈　〉は見切Aの場合



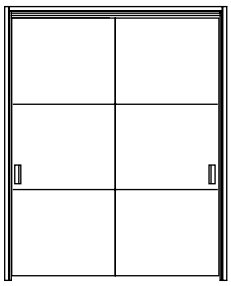


吊戸引違寸法図

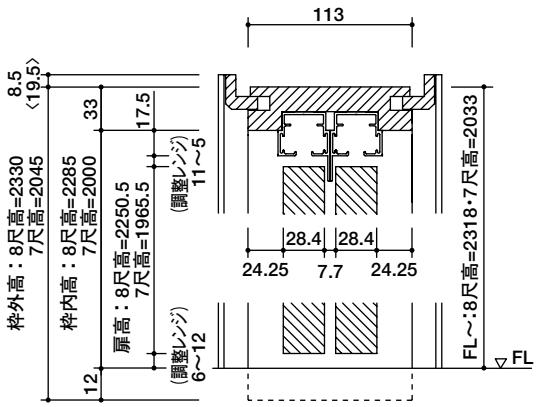
スケルトンタイプ

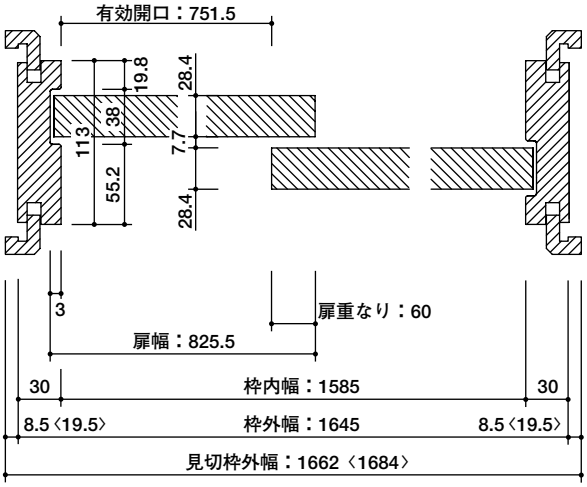


ウッドタイプ



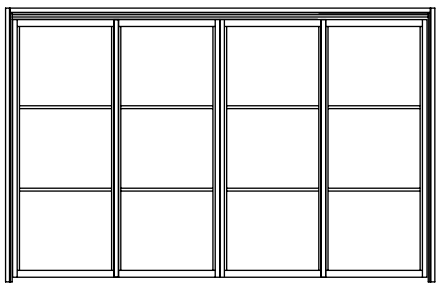
図は見切B～E使用の場合
〈　〉は見切Aの場合



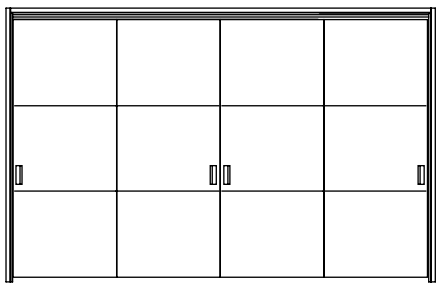


吊戸4枚引違寸法図

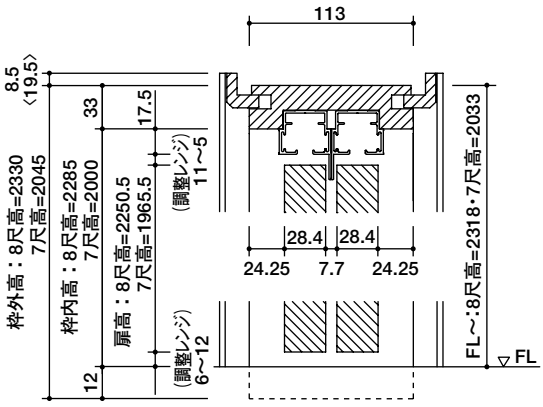
スケルトンタイプ

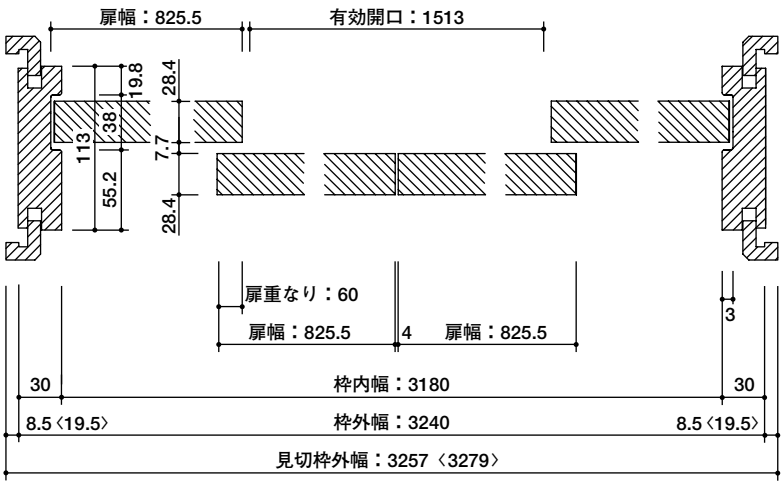


ウッドタイプ

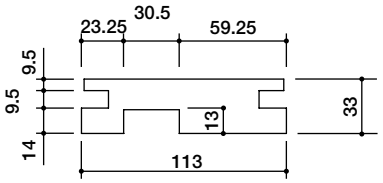
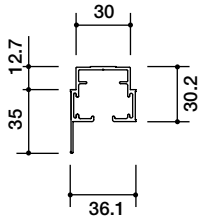
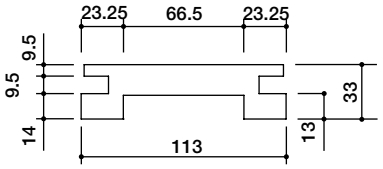


図は見切B～E使用の場合
〈　〉は見切Aの場合





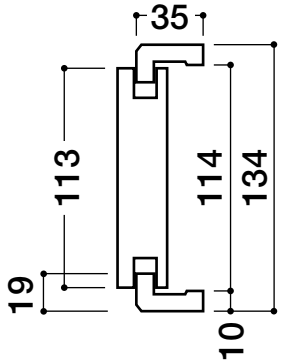
部材断面図

	鴨　　居	吊戸レール
片引・引分		
引違・4枚引違		

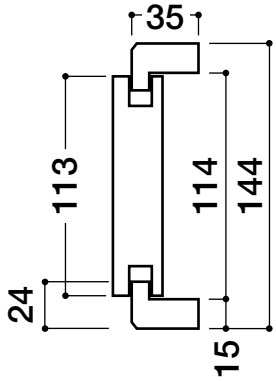
見切枠壁厚対応

見切A（シンプル）壁厚114mm

横　用

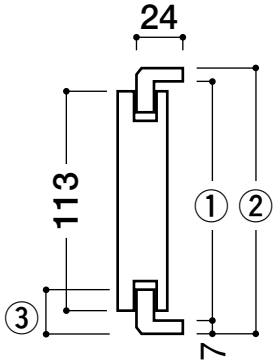


縦　用

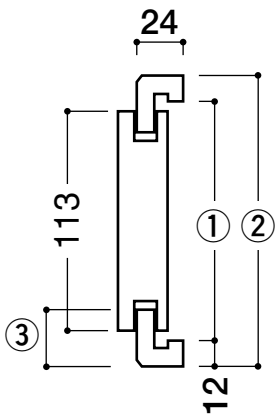


見切B～E（シンプル）壁厚114mm～185mm

横　用



縦　用

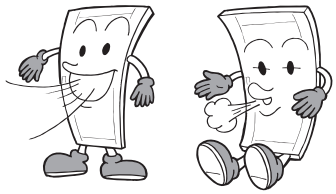


見切		B	C	D	E
①壁厚		114～131	131～149	149～167	167～185
②枠外寸	横用	128～145	145～163	163～181	181～199
	縦用	138～155	155～173	173～191	191～209
③見切サイズ	横用	22	31	40	49
	縦用	27	36	45	54

木質材料の性質について

木質開閉間仕切扉の「反り」について

木材を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工して作られた開閉間仕切扉は、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は開閉間仕切扉周辺の温度、湿度等の環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、開閉間仕切扉の室内面側と室外面側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。



「反り」の発生を出来るだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

①エアコン、暖房器具等をお使いになる場合は、開閉間仕切扉に直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。

②夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房等により、室内と室外の環境条件の差を極端に大きくしないでください。

③開閉間仕切扉に直接日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれ等を設けて日光を遮ってください。

発生した「反り」は仕切られた両側の部屋の環境条件を近づける事によって、小さくなる事があります。

商品の保証について

商品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品

開閉間仕切

■保証期間

引渡し後2年とさせていただきます。弊社商品の引渡完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間を経過した製品においても、修理可能なものは、有償にて修理を承ります。

■保証期間内でも以下の場合は有料となります。

①建物の設計・施工に起因する場合

②自然現象・周辺環境等の不可抗力に起因する場合

③建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する場合

④入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する場合

⑤経時変化による通常一般的な当該保証対象製品の色褪色、汚れ、劣化、磨耗など

⑥製造時に実用化されていた技術では予測する事が不可能な事象に起因する場合

⑦その他当該不具合品の発生が弊社の責によらない場合

ご相談窓口について ●製品に関するお取り扱い、補修、工事などのご相談は、工務店へ。●DAIKENへ直接ご相談される場合は、下記窓口へお願いします。

製品に関するお問い合わせご相談

DAIKENお客様センター

0120-787-505

（フリーダイヤル）

● 携帯・PHSからは TEL 0570-064-876へお電話ください。

● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理に関するお問い合わせご相談

ダイケンホーム&サービス株式会社

06-4257-3121

● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ
部品のネット販売サイトです。

http://www.daiken.jp/service/

DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶ ▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ

ご相談窓口における個人情報のお取扱い

大建工業株式会社及び大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（大建工業株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。）尚、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただく時のためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

北海道営業部	
札幌営業所	☎(011)207-5330
札幌特販営業所	☎(011)207-5330
旭川営業所	☎(0166)24-1377
函館事務所	☎(0138)47-7191
帯広事務所	☎(0155)25-8421
東北営業部	
盛岡営業所	☎(019)636-1161
仙台営業所	☎(022)243-6621
東北特販営業所	☎(022)243-6621
青森営業所	☎(017)735-8811
郡山営業所	☎(024)946-7211
秋田事務所	☎(018)862-4441
山形事務所	☎(023)632-2711
信越営業部	
新潟営業所	☎(025)285-5887
信越特販営業所(新潟)	☎(025)285-5887
長野営業所	☎(026)222-6311
信越特販営業所(長野)	☎(026)222-6311
長岡営業所	☎(0258)33-5734
松本事務所	☎(0263)40-0370
北関東営業部	
埼玉営業所	☎(048)669-0660
宇都宮営業所	☎(028)621-6431
宇都宮特販営業所	☎(028)621-6431
群馬営業所	☎(027)321-5511
熊谷事務所	☎(048)527-5601
首都圏営業部	
東京営業所	☎(03)6271-7731
横浜営業所	☎(045)222-4781
多摩営業所	☎(042)571-3434
千葉営業所	☎(043)287-8491
水戸営業所	☎(029)248-8511
静岡営業所	☎(054)288-3881
山梨事務所	☎(055)275-7931
我孫子事務所	☎(04)7183-4070
つくば事務所	☎(029)849-2344
相模原事務所	☎(042)770-9130
平塚事務所	☎(0463)20-4771
中京営業部	
名古屋営業所	☎(052)205-5811
名古屋特販営業所	☎(052)205-5811
三重営業所	☎(059)226-7073
浜松営業所	☎(053)458-5751
岐阜事務所	☎(058)246-6752
三河事務所	☎(0564)65-8681
北陸営業部	
金沢営業所	☎(076)262-3211
北陸特販営業所	☎(076)262-3211
富山事務所	☎(076)429-7250
福井事務所	☎(0776)26-8508
近畿営業部	
大阪営業所	☎(06)6452-6200
大阪特販営業所	☎(06)6452-6220
リモデル営業所	☎(06)6452-6171
京都営業所	☎(075)341-8151
兵庫営業所	☎(078)321-1822
沖縄営業所	☎(098)879-4916
和歌山事務所	☎(073)473-8090
中国営業部	
広島営業所	☎(082)505-2525
広島特販営業所	☎(082)505-2525
岡山営業所	☎(086)262-2271
岡山特販営業所	☎(086)262-2271
山口事務所	☎(083)974-0303
四国営業部	
高松営業所	☎(087)866-8500
高松特販営業所	☎(087)866-8500
松山営業所	☎(089)945-8569
徳島営業所	☎(088)622-6261
高知駐在	☎(088)885-6202
九州営業部	
福岡営業所	☎(092)413-2345
福岡特販営業所	☎(092)413-2345
熊本営業所	☎(096)372-5211
南九州特販営業所	☎(096)372-5211
鹿児島営業所	☎(099)254-8300
北九州事務所	☎(093)522-1224
長崎事務所	☎(0957)35-0161
大分事務所	☎(097)533-8701
宮崎駐在	☎(0985)26-5908
東部住宅営業部	☎(03)6271-7721
集合住宅営業部	☎(03)6271-7751
工事建材課	☎(03)6271-7766
リモデル営業部	☎(03)6271-7761
リテール営業部	☎(03)6271-7755
西部住宅営業部	☎(06)6452-6232
集合住宅営業1・2課	☎(06)6452-6243
工事建材課	☎(06)6452-6245
住機製品事業部 営業課	☎(0763)82-5882

大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス http://www.daiken.jp/

2010.08 現在